

キャリア形成支援プラン

分析部門のマネジメント段階

分析分野

分析知識を習得する段階



基礎知識の習得

- 分析機器の使用方法、分析法、違法薬物の種類など知識の習得。

現場経験・出向

- 通関、旅具、外郵、貨物検査等で人・貨物の流れや種類、摘発の流れを習得。
- OJTとして関税中央分析所への出向も可能。

中堅として活躍する段階

部門の戦力

分析手法の判断

- 分析依頼を受けたサンプルに対して、どの分析手法や装置を使うのが適切か判断する。

分析手法の開発

- 必要とされる分析手法の開発に携わる。（関税中央分析所報に掲載）

国際協力

- 外国税関職員に英語で日本税関の分析手法等を紹介。

現場経験・出向

- 現場経験を積み、現場の課題を抽出する。
- 関税中央分析所への出向、OJTとして分類センターへの出向も可能。

分析部門を引っ張る段階

部門の中核

分析に関する助言

- 分析官の分析方法に対して指導・助言。
- 分析部門の視点から、現場部門に対して、サンプルの抽出方法等の助言。
- 分析に関するスペシャリストとして関税中央分析所等と業務の方針等を検討。

専門性の習得

- 関税分類や原産地制度等の他の専門知識を習得し、分析業務に活かす。

出向

- 関税中央分析所、分類センターへの出向も可能。

部門のプロ

部下職員の育成

- 部下の分析結果・報告に対して、指導・育成。
- 講師として、税関の内部や外部で分析の講義。

分析機器の開発

- 関係機関や民間企業等と共同で薬物探知装置の機器開発に寄与。

国際協力

- 分析業務等に関するスペシャリストとして、国際会議への出席、外国税関へ赴き技術指導する等、関税技術協力に貢献。

出向

- 関税中央分析所、分類センターへの出向も可能。



係員

分析官
(係長級)

上席官
(課長補佐級)

統括官
(課長級)

20代

30代

40代～